

# よなご

## ＊市議会だより

No.70  
2022.10.1



### 第6期 米子市議会議員

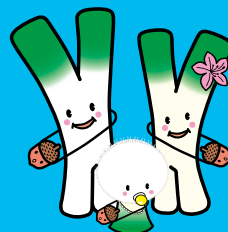
- 定例会のあらまし…………… P1・2
- 議長・副議長の就任あいさつ…………… P2
- 議員紹介…………… P3
- 委員会構成・常任委員会の所管事項等…………… P4
- 市政一般に対する質問…………… P5～17
- 議案等審議結果一覧表…………… P18～19

#### 令和4年7月定例会の あらまし

令和4年7月定例会は、7月14日から8月4日までの22日間の会期で開かれました。

今定例会は、6月5日に行われた市議会議員一般選挙後初の議会であり、開会日の7月14日には、最初に、正副議長の選挙が行われました。その結果、議長に稲田清議員が、副議長に門脇一男議員が、それぞれ選出されました。

次に、議会運営委員及び常任委員の選任が行われました。



次に、議員発議により「特別委員会の設置について」の議案1件が提案され、原案のとおり可決されるとともに、特別委員の選任が行われました。

次に、常任委員会及び特別委員会の正副委員長の互選が行われました。

続いて、鳥取県西部広域行政管理組合議会議員等の選挙及び互選が行われました。

最後に、市長から「監査委員の選任について」の議案1件が提案され、原案のとおり同意されました。

15日には、市長から「専決処分について（米子市市税条例の一部を改正する条例の制定について）」などの議案11件及び報告10件について提案理由の説明及び報告がありました。

19日、20日、22日及び25日の4日間は、25人の議員による市政一般に対する質問が行われました。

26日から29日まで及び8月2日の5日間は、議案及び陳情の審査等のため、委員会が開催されました。

最終日の8月4日には、まず各委員会の委員長から議案及び陳情の審査報告があり、いずれ

も委員長報告のとおり決しました。

次に、市長から「工事請負契約の締結について」などの議案7件が提案され、委員会審査の後、決算関係議案については閉会中の継続審査とすることに決し、その他の議案については原案のとおり可決されました。

最後に、市長から「人権擁護委員候補者の推薦について」の諮問1件が提案され、原案のとおり同意されました。

なお、今回審議された案件は別表のとおり29件で、審議結果については、18ページの「審議結果表」とおりです。

別表

区分	件数
議案	15
諮問	1
報告	10
陳情	3
合計	29

令和4年12月定例会の  
お知らせ

令和4年12月定例会の日程は、よなご市議会だより第70号の発行日の関係上、掲載することができませんので、市議会ホームページをご覧ください。議会事務局にお問い合わせください。

議長・副議長の就任あいさつ



議長  
いなた 清  
きよし



副議長  
かどわき かずお  
門脇 一男

市民の皆様には、日頃から市政各般にわたり温かいご理解とご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

私たちは、去る7月14日、議長、副議長にご選任を賜りました。

地方創生の時代にあって、地方自治体の自主的な意思決定と責任の範囲が拡大していく中、議会の果たすべき役割は増大してきています。議会において、市の政策を審議する場合、その論点及び争点を明らかにし、持てる機能を十分に駆使し、議事機関としての責務を果たさなければなりません。

しかしながら、このたびの市議会議員選挙でもうかがえるように、投票率の低下は顕著であるため、まず、投票率の低下傾向に歯止めをかけ、議会の存在意義を回復することが責務であると考えます。

そのためには、広報広聴の在り方を見直し、より議会の活動を伝えていく仕組みづくりに、また、市当局と一体となったDX化に係る取組についても、早急に着手すべきと考えます。

何とぞ、皆様方のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願いを申し上げ、就任のご挨拶とさせていただきます。

# 議員紹介

令和4年9月1日現在 ※会派内は五十音順

## 自由創政



稲田 清



岩崎康朗



岡田啓介



奥岩浩基



門脇一男



田村謙介



塚田佳充



戸田隆次



西野太一



渡辺穰爾

## 信風



安達卓是



伊藤ひろえ



大下哲治



中田利幸

## 日本共産党米子市議団



錦織陽子



又野史朗

## 公明党議員団



今城雅子



津田幸一



徳田博文



矢田貝香織

## 無所属



森田悟史

## よなご・未来



国頭 靖



土光 均



松田真哉



吉岡古都

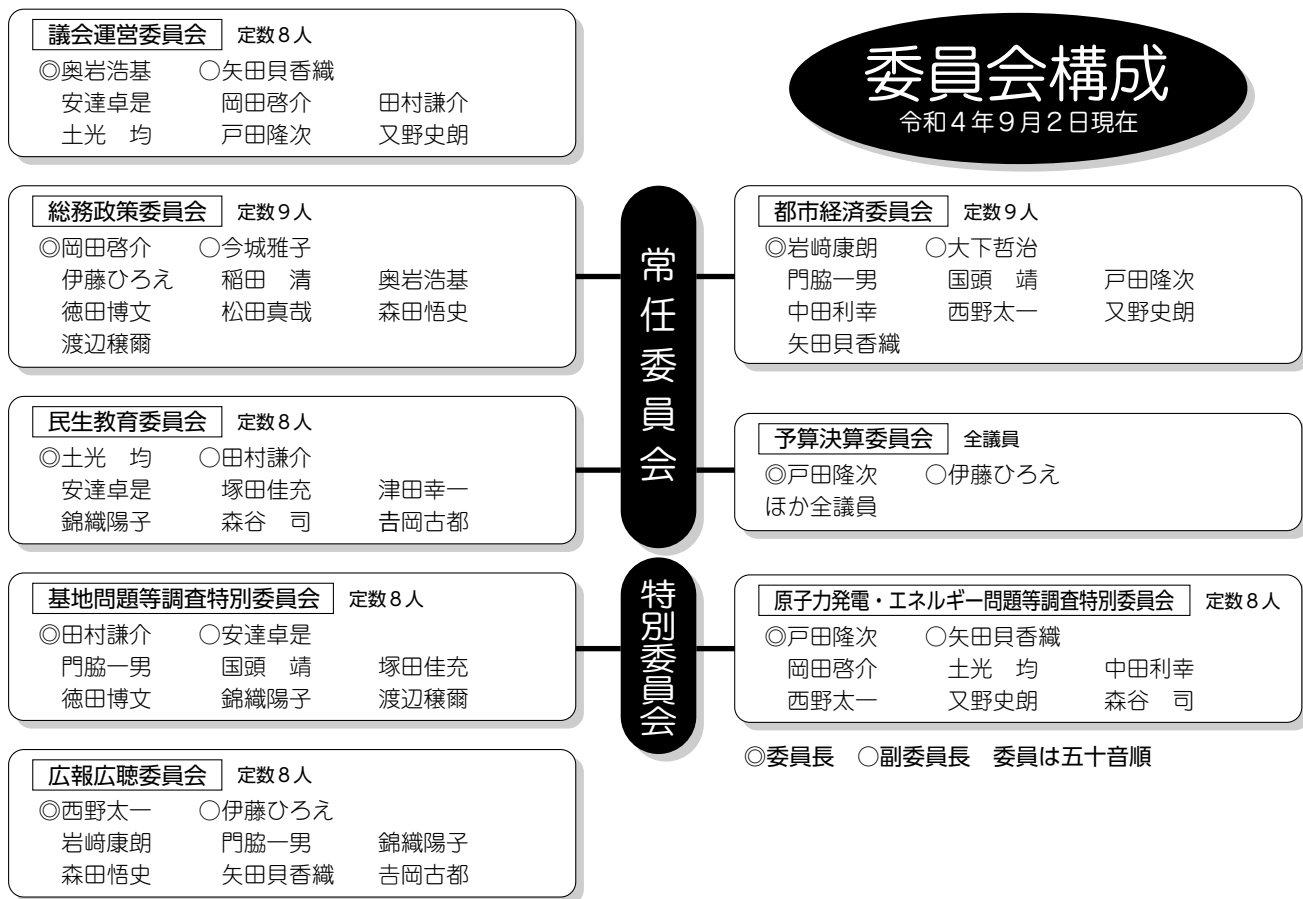
## 無所属



森谷 司

# 委員会構成

令和4年9月2日現在



## 常任委員会の所管事項

名称	所管事項
総務政策委員会	●総務部・総合政策部・会計課・選挙管理委員会・監査委員・公平委員会・固定資産評価審査委員会の所管に属する事項 ●他の常任委員会の所管に属さない事項
民生教育委員会	●市民生活部・福祉保健部・こども総本部・教育委員会の所管に属する事項
都市経済委員会	●経済部・都市整備部・下水道部・農業委員会・水道局の所管に属する事項
予算決算委員会	●予算及び決算に関する事項

## 特別委員会の付議事件

名称	付議事件
基地問題等調査特別委員会	●美保基地及び米子駐屯地に係る諸問題に関する事 ●米子空港整備及び関連する周辺整備に関する事
原子力発電・エネルギー問題等調査特別委員会	●島根原子力発電所に係る諸問題に関する事 ●エネルギー政策に関する事

## その他の委員会の所管事項

名称	所管事項
広報広聴委員会	●よなご市議会だよりに関する事 ●議会報告会に関する事 ●議会のホームページに関する事

# あなたの声を市政に！

7月定例会では、25人の議員が各個質問を行いました。



紙面の都合上、質問と答弁を要約しています。  
詳細は市議会ホームページのインターネット録画配信、または、会議録をご覧ください。

※会議録は、議会事務局、各公民館、市立図書館で  
ご覧になれます。



「一般質問」とは、議員が市の一般事務について、市長及び執行機関に対し質問を行うことです。

「一般質問」には以下の方法があります。

- 各個質問：議員が個々の立場で質問を行う
- 代表質問：3人以上の議員が所属する会派の代表が行う
- 関連質問：代表質問を行った議員と同じ会派の議員が関連した質問を行う

## 各個質問

### 空き家対策について



おおした てつじ  
**大下 哲治** 議員  
しんぶう  
【信風】

■議員 空き家及び耕作放棄地が増え続け、深刻な問題となる中で、次の世代に負の遺産を背負わせないようにするためにも、私は皆さんと一緒に、10年後、20年後も今の子どもたちが住み続けられる米子を作っていきたい。そこで、現在空き家バンクに登録されている淀江地区の物件数はゼロであるが、登録されない要因として何が挙げられるのか伺う。

■都市整備部長 一因としては、空き家・空き地バンクの周知不足が挙げられる。引き続き、固定資産税の納税通知書に「空き家・空き地に関する啓発チラシ」を同封し、空き家・空き地バンクの情報を掲載するなどして、空き家所有者に対する意識啓発、空き家・空き地バンクの周知に努めていきたい。

■議員 市としても所有者任せにするのではなく、適切な情報提供と啓発活動に取り組んでいただくよう強く要望する。

### 伯耆古代の丘活性化構想について

■議員 市は淀江地域における地域づくりにおいて、歴史・地域資源を活用したにぎわいづくりを掲げ、伯耆古代の丘エリア活性化構想に取り組んでいるが、この構想の現状と今後の到達目標について伺う。

■市長 淀江地域が持つ魅力を生かした地域づくりを行い、伯耆古代の丘エリアのにぎわいづくりにつなげていけるよう取り組んでいる。また、にぎわいづくりの目標として、エリア内の施設入場者数の令和6年度の数値目標を20万人と定めており、達成に向け取り組んでいる。

■議員 淀江地区には地域思いの熱い方が多いが、この構想自体を知らない方が多い。にぎわいづくりには、地域の団体、企業、住民との連携が必要不可欠であり、地域との情報交換と交流をはかりながら取り組んでいきたい。



かどわき かず お  
**門脇 一男** 議員  
【自由創政】

**農業振興策について**

■議員 昨年から今年にかけて肥料価格が高騰していると伺います。昨今の肥料価格の動向についてはどのような認識か。

■農林水産振興局長 令和3年秋から急上昇し、本年秋肥の化成肥料については春肥に比べ55%上昇するなど、全体では1.4倍の上昇率となっている。

■議員 肥料価格の高騰により農家にはどのような影響があるのか。

■農林水産振興局長 肥料の高騰による生産コストの増加は、農業経営を圧迫し、所得の減少につながるものと危惧する。

■議員 このままでは廃業する農家が出てくるのではと危惧する。国・県の支援とは別に、本市でも独自の支援を検討すべきではないか。

■市長 今後は国や県の肥料高

騰対策の内容を見極めながら、本市としてどういった支援が可能なのか検討したい。

■議員 本市には再生利用が困難と見込まれるB分類の荒廃農地が300畝以上存在する。今後これらをどう活用するのか。

■経済部長 脱炭素化を主目的として、荒廃した農地の一部に太陽光発電機を設置し、再生エネルギーを脱炭素先行地域に供給する計画がある。具体策は脱炭素先行地域推進協議会の分科会で検討し進める。

■議員 現在では、作付けの難しい農地が荒廃農地として数多く存在している。早急に残すべき農地とそうでない農地をきちんと区分けをし、農地以外の活用法を検討すべきではないか。

■市長 B分類の再生が難しい荒廃農地については、農地以外の活用法も考えていく。例えば、JＲ境線の駅周辺の調整区域内においては、宅地化を含めたルールを作り規制緩和を図るなど、できうる限り有効活用していく。

■議員 このままだとB分類の荒廃農地は森林化が進むことから、早急に適切な対応をお願いする。



いわさき やすろう  
**岩崎康朗** 議員  
【自由創政】

**コロナ感染地域対策について(経済対策・地域対策・観光対策)**

■議員 コロナ感染拡大により、本市経済の状況は厳しい状況にあるが、現在の状況をどのように考えているのか。

■経済部長 感染状況を注視しつつ、感染拡大防止と経済活動を両立させ、バランスを取りながら、賢く付き合っていくことが求められていると考えている。

■市長 飲食店応援キャンペーンの利用状況を集計したところ、スナック・ラウンジなどの利用率と20時以降のタクシー利用率が低い状況にあった。こうした状況を踏まえ、20時以降の飲食店とタクシー・運転代行のセット利用を促す事業予算を上程した。

■議員 直近では6月末から感染力の強いオミクロン株B.A.5系統が急拡大して、新規陽性者数は連日最高を更新している

状況である。そこで、コロナ感染地域対策における学校でのマスク着用、公民館での地域福祉活動の現状と課題を伺う。

■教育長 本年度の学校教育推進の重点の一つに「感染症や自然災害等のリスクに対して臨機応変に行動できる子どもの育成」をあげ、適切にマスクの着脱ができるよう指導している。

■福祉保健部長 地域福祉活動では、住民同士の支え合い活動が制限されており、つながりの希薄化や社会的孤立を招く恐れがある。感染防止に配慮しながら、できるだけ活動を継続できるように支援が必要と考える。

■議員 ポストコロナへの観光対策について伺う。

■市長 コロナ禍が収束したとき、今以上に旅行需要は増えるため、観光地としての本質的な魅力づくりが必要である。

■文化観光局長 皆生温泉エリアでは、観光客がまち歩きできる環境が不十分であるため、砂浜を利用した遊べる場所の創出や温泉情緒創出に向けたエリアの照明刷新に取り組んでいる。

(その他の質問項目)  
○公立中学校の運動部活動を地域に移行する改革について

## 各 個 質 問



や たい か おり  
**矢田貝 香織** 議員  
【公明党議員団】

### 带状疱疹ワクチンについて

■議員 带状疱疹は50歳代から発症率が高くなり、80歳までに約3人に1人が発症する身近な病気である。本市のワクチン接種の公費助成について伺う。

■福祉保健部長 本市では定期予防接種以外に公費助成は行っていない。現時点で带状疱疹ワクチンの助成は考えていないが、定期予防接種化は全国市長会から国へ提言しているところである。

■議員 まずは、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金で事業化し、本市独自の助成制度としての継続を検討する方法もあるのではないかと、前向きな検討を要望する。また带状疱疹の発症リスクを下げる生活上の心がけなど、病気と予防方法について、市民への情報周知を求める。

### 多様な性の在り方が尊重される共生社会について

■議員 LGBTQ性的マイノリティーについての児童生徒への人権学習について伺う。

■教育長 小学校高学年で多様な性についての学習や、中学校では実際に当事者の思いを聞くなど、誰もが安心して暮らせる社会について考える学習を多くの学校で行っている。

■議員 中学校の制服について、女子生徒のスラックス着用を可能としたり、男女で違うデザインの検討など、現在の状況について伺う。

■教育長 制服の選定や見直しは、校長の権限において適切に判断すべき事柄とされている。

■議員 あるジェンダーフリーのアンケートでは、約9割が中学生までに性の違和感を自覚したとのこと。保健室を心と体の休まる場所としている子どもの中に、性自認や発達など生きづらさを感じている人がいる前提で、寄り添い、力になる本やDVDなどを保健室に、選んで置いていただきたい。心に重きが置かれた本を、どこに置くかは重要なテーマである。



とく だ ひろふみ  
**徳田 博文** 議員  
【公明党議員団】

### バイオマス発電に係る生活環境保全協定について

■議員 本市として4月2日の商業運転開始以降、地域の生活環境保全に取り組んできた具体的事項、その内容について伺う。

■経済部長 地域協議会が、4月24日、5月27日、6月26日の3回開催されており、主に発電所から発生する騒音や粉塵による地域の生活環境への影響に関する事項について協議を行った。環境保全の具体的な取組として、粉塵については、近隣住民からの意見があり、事業者において、燃料搬入のシャッター開口部にのれん状のカートンを設置するほか、集塵機能を強化する対策を講じた。7月末には発電所に隣接する自治会（美保ヶ丘、崎津5区、6区）に対して、これまでの経過や今後の対応策を説明するため、住民説明会を開催する予定である。

■議員 騒音防止の点では、実効性のある防音壁の設置が有効であるが、今後の対応を伺う。

■経済部長 防音壁の設置については、地元自治会から要望があり、地域協議会で協議を行ってきた。先般、事業者から敷地南側に高さ3層のコンテナを設置した防音効果を検証し、一定の減音効果が得られたと伺っている。

■議員 肝心の地域の方から、減音効果を伺っているのか。

■経済部長 不十分だという意見をいただいている。

### 空き家対策について

■議員 本市における空き家発生予防に関する課題とその対処方法について伺う。

■都市整備部長 空き家の発生を防ぐには、建物所有者への意識啓発が課題である。昨年10月の広報よなごやホームページにおいて広報するとともに、公民館でふれあい説明会を行った。

■議員 「住まい」ではなく、「住まい手」に寄り添う空き家対策を進めるよう要望する。

（その他の質問項目）  
○ヌカ力対策について



伊藤 ひろえいとう ひろえ 議員  
【信風】

ひとり親家庭の支援について

■議員 母子生活支援施設の生活支援計画作成、支援、市の関与を伺う。

■こども総本部長 入所時アセスメントを行い、課題やニーズ、環境状況の把握、自立支援の計画を作成する。支援は、自立支援計画に基づき、就労支援、心理士による面接、学習支援、養育支援、他機関との連携や社会資源の活用、日常生活の自立に向けた家事支援などを行う。市の関与は、自立支援計画や課題を施設と共有し入所者と定期・随時の面談を行い、課題解決に向けて施設とともに支援する。

■議員 県西部の母子生活支援施設は15世帯のみである。緊急的に入りたくても、空きがない状況が多く、困っているとの声がある。早めに生活基盤を見つけることが重要であるため、市

営住宅の子育て世帯優先入居等活用し、適切な自立につながるよう要望する。

現状を踏まえた人権条例の改正に向けて

■議員 秋に人権の全国大会が開催予定だが、内容と市民への啓発について伺う。

■市長 11月15日、16日「部落解放研究第55回全国集会」が米子市で開催され、様々な人権課題について報告が行われる。参加者は約3000人を予定。関係団体等への周知により、市民の人権問題への理解を深める機会となることを期待している。

■議員 インターネットの差別事象やLGBT等新たな課題を盛り込んだ人権条例の改正が必要と考えるがいかがか。

■人権政策監 人権尊重のまちづくりを推進したい。インターネット上による人権侵害についても基本方針・プランの中で言及しているが、引き続き研究していきたいと考えている。

■議員 「人権の世界の流れ」は、ダイバーシティ（多様性）エイクイティ（公平性）、インクルージョン（受容性）が重要で人権条例の見直しを要望する。



吉岡 古都よしおか こと 議員  
【よなご・未来】

学校での「香害」について  
（※香害 柔軟剤等に含まれる香料等による健康被害）

■議員 香害（香りの害）も含めた化学物質過敏症に対する学校の対応の現状について伺う。

■教育委員会事務局長 児童生徒が在籍する学校で、職員研修の実施、保健だよりへの掲載、制汗スプレー等の使用の注意点を指導するなど対処している。

■議員 学校薬剤師が学校環境衛生検査以外にあまり活用されていない実態がある。コロナ対策の消毒や職員研修などにもっと活用して欲しい。コロナ対策も香害も換気が重要となる。CO<sub>2</sub>モニターによる換気の見える化についての考えはどうか。

■教育長 換気は必要不可欠である。CO<sub>2</sub>モニターの適切な使用に努める。

■議員 給食エプロンの柔軟剤臭の苦情を聞くが、洗濯は学校管理にできないのか。

■教育長 設想的にも人員的にも困難であるため、引き続き保護者に協力をお願いしたい。

■議員 化学物質過敏症の児童生徒が在籍しない学校でも香害について啓発をお願いしたい。

■教育長 香害啓発ポスターを入手して、各学校に掲示したい。

令和3年男女共同参画セミナーでの講演について

■議員 講演に寄せられた苦情を受けての対処について伺う。

■総合政策部長 事業実施において、講演者と参加者との対話を重視し、質疑応答や事後のアンケートを行い、適切に感想などを事業運営に生かすこととした。

■議員 ジェンダーギャップの解消は人口減少対策としても注目されている。そのための一般市民啓発は重要なので、講師と参加者との対話のみならず、ワークショップ形式の導入など、市民同士が対話し、学びを深められるような方向性も検討して欲しい。小まめなアンケート結果を事業評価に反映させるなど、事業の有効性を高める取組についても検討し、さらなる男女共同参画の推進を期待する。



## 各 個 質 問



つだ こういち  
**津田 幸一** 議員  
【公明党議員団】

学校給食費一部無償化について

■議員 保護者負担軽減の後押しとして支援基準を設け「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を使い、収入減少の影響を受けている保護者への一部無償化ができないか。

■教育委員会事務局長 一般財団法人米子市学校給食会に対し、物価高騰に伴う増額分の経費を「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用し補助を行う。これにより学校給食費を現行のまま維持することで保護者負担の軽減に資するものと考えているため、学校給食費を減額するなどの一部無償化は考えていない。

■議員 学校給食は子どもの楽しみの一つであり、未来のある子どもたちの健康と食育を考えると、学校給食費について来年度以降も子どもたちの健康を

支える一食分であることに心を使い、値上げとならない方策を考えるよう要望する。

高齢者の運転免許証の自主返納後の交通手段について

■議員 タクシー相乗りサービス制度「ドア・ツー・ドア」のサービスの導入を倉敷市が取り入れ、市内の校区から特定の病院間を定額運賃として利用人数で割り勘するものである。4人まで相乗りし自宅まで送迎するサービスを提供しているが、今後は買物支援の導入を目指していくもので、本市も「ドア・ツー・ドア」のサービスを導入し高齢者の通院等を支援できないか伺う。

■市長 相乗りサービスは令和3年11月1日から運用開始されたタクシーの運送形態であり、サービスの導入は事業者の判断によるものと考えている。国によることは低料金を利用客にとると同時に、タクシー事業者にとっては生産性向上につながるため、市民の利便につながるよう先進地の事例について調査・研究しつつ、事業者と意見交換をしていきたい。



あだち たかし  
**安達 卓是** 議員  
【信風】

バスなどの地域公共交通について

■議員 地域住民の多くからは、路線バスの車両のサイズを小さく変更するなど経費を下げる工夫をし、新規路線の拡充や既存路線増便を求めて欲しいという意見があるがいかが伺う。

■総合政策部長 路線バスは、事業者が国の補助金を活用して購入しており、中型・小型による大きな価格差がなく、国の補助割合のよい中型車両を購入しているとのこと。そのため、車両のサイズを小さくすることにより、新規路線の拡充や既存路線の増便につながることは難しいと考えている。

■議員 このたび和田町内を横断する新設の市道が完成する。この新しいルートを使い、バスを試験的に運行することはできないか。

■総合政策部長 今後、バス事

業者などの関係者と現地確認するなど協議をしたいと考えている。

障がい者への福祉施策の充実について

■議員 コロナ禍の就労継続支援事業所の状況と事業所支援について伺う。

■福祉保健部長 コロナ禍で、従来の受注業務の減少や飲食事業の縮小などの影響を受けている事業所もある中、新たな事業展開や商品開発、販路拡大などにより、利用者個々の状況に応じた適切な支援や安定した工賃確保のため、努力されている事業所もあると聞いている。本市では、令和2、3年度において、利用者の安定した作業量の確保のため、市の優先調達による事業所支援を実施してきた。引き続き、就労継続支援事業所の状況把握に努め、必要に応じ支援策を講じていきたい。

■議員 基幹相談支援センターの実績と今後の取組について伺う。

■福祉保健部長 本人や関係機関からの相談が696件あり、今後も相談支援体制の強化と人材育成の取組を進めたい。



とだりゅうじ  
**戸田 隆次** 議員  
じゆうそうせい  
【自由創政】

子どもの居場所について

■議員 子どもを産み育む過程において、子育てに資する環境の体制整備が求められている。市は、子どもの居場所についてどのような施策を講じられているか伺う。

■こども総本部長 市内23か所になかよし学級を開設しており、民間児童クラブ・子ども食堂への運営費等の助成を行っている。また、教育支援センターぶらっとホームについて今秋開設予定としている。

■議員 若い世代の共働き世帯において、子どもさんがよくし学級に入らず、居場所を求めているとよく聞きます。特に夏休みに困っており、公民館での対応を実施すべきである。

■副市長 地域共生社会に向けた地域づくりの拠点として子どもたちを含めた多くの人たちが

集うような公民館を目指し、始めたところである。何ができるか公民館と一緒に考えていきたい。

中海架橋について

■議員 中海架橋は、渋滞緩和・圏域の交流・災害時における避難誘導路等圏域の発展に大きく寄与すると考えるが、本事業は大きく置き去りにされている感が否めない。

■市長 中海・宍道湖・大山圏域市長会で第2期地方版総合戦略を策定し、未来をひらく交通ネットワークの形成を掲げた。その中で中海架橋は重要なインフラの一部と位置づけ、引き続き整備促進に取り組んでいく。

■議員 米子境港高速道を内浜ルートとし中海架橋とのジョイントを目指し、避難道の広域対応等を実現すべき。内浜ルートと中海架橋の一体化を図り同事業の促進化を目指すべきである。

■市長 米子境港間の高規格道路については、現状、ルートはまだ決まっていない。国交大臣の話によるとルート案についての課題はあるが前向きに取り組んでいこうということだった。



おかだけいすけ  
**岡田 啓介** 議員  
じゆうそうせい  
【自由創政】

米子駅南北自由通路等整備事業について

■議員 米子駅南北自由通路等の整備に伴い、米子駅周辺の整備も進んでいくものと考えているが、当局の考え方を伺う。

■総合政策部長 今後、JR西日本米子支社、米子商工会議所、鳥取県、本市の四者による米子駅周辺活性化連携会議の中で、周辺のにぎわい創出に向けた具体的な検討をしていきたい。

■議員 駅南広場隣接のJR所有地等の開発について、米子市の民間事業が関与できるように本市としてもJRへの働きかけをすべきと考えるが、所見を伺う。

■総合政策部長 四者による連携会議を通じて、取り組んでいきたい。

学校施設の整備状況について

■議員 各学校からの要望と進捗状況はどのようになっているのか伺う。

■教育委員会事務局長 毎年、当初予算編成前に、各学校からの環境整備要望等を基にヒアリングを行い、緊急性の高いものから優先順位をつけて実施している。進捗状況については、要望件数に対して2、3割程度の実施予定となっている。

■議員 小中学校におけるトイレに対する改善問題は、多くの学校から要望があるようだが、これだけ多くの学校から要望があるのであれば、一気にやっってしまうぐらいの勢いがあってもいいと思う。教員の多忙の解消の観点からも、各学校での対応にませるのはいかがなものかと考えるが、所見を伺う。

■副市長 学校施設の修繕費は十分ではないが、以前よりはかなり伸びている。今後も学校施設の長寿命化改修に、日常的な修繕をどう組み合わせるかをしっかりと考えながら、施設整備に努めていきたい。

(その他の質問項目)

○本市の経済政策について

○新鳥大病院建設推進委員会について

## 各個質問



にしこおり ようこ  
**錦織 陽子**議員  
【日本共産党米子市議団】

### 巨大バイオマス発電の住民被害対応について

- 議員 4月に営業運転開始した米子バイオマス発電所の周辺住民被害が深刻だ。3月定例会の生活環境の安全に取り組むという答弁は実行されているのか。
- 経済部長 事業者の行う対策や検討状況を市が把握し、改善に向け協議を行っている。
- 議員 団地整備から約半世紀が経過した。塩漬け土地で周辺環境も変わった。都市計画の見直しについて伺う。
- 経済部長 懸案事項として残っていたが、今回騒音規制のない工業専用地域でなく工業地域として運用する努力目標を持って対応しているところである。
- 議員 なぜ様々な苦情が出ていたのに対応しなかったのか。
- 経済部長 地域協議会の対応も含めて十分対応してこなかったことを反省している。

- 議員 住民に不眠、不整脈等様々な症状が出ている。世界保健機構の夜間騒音ガイドラインでは55デシベル以上だと高頻度で健康影響が生じるそうだ。米子工場は24時間65デシベルだ。市長の認識を問う。
- 市長 事業者の適切な対応と地域の方々の理解を求めたい。

### 度重なる不祥事、偽造人構証発覚と安全協定

- 議員 米子市は安全協定改定調印後に、バッテリー火災の県の立入調査に同行した。再稼働容認前に行くべきではないか。
- 防災安全監 再稼働の判断とバッテリー火災事案は別にして進めてきた。
- 議員 島根原発構内に委託会社職員が偽造入構証で立入りした不祥事を聞いた時の対応はどうだったのか。
- 市長 中国電力の内部規程に従い適切な対応をとっていたかどうかが必要と思った。
- 議員 市民説明会を求めよ。
- 市長 ハード面、ソフト面の安全性確保が必要だ。周辺自治体と連名で社員教育をしっかりとやっていたか、と中国電力に求めており、注視していく。

### 市役所借地解消の道筋について



まつだ しんや  
**松田 真哉**議員  
【よなご・未来】

- 議員 私は22年間、地元の金融機関で働いた経験から、お金の流れを良くすれば、社会の隅々の日の当たらない所にもまでお金を回すことができると信じている。その道筋をつけることが私の使命である。将来に目を向けると、人口減少、高齢化人口がピークを迎える2040年問題が生じており、足もとでは下水道料金値上げ等により市民の負担は重くなっている。これらの問題に対処するには、長期的視点を持って将来に向け、無駄な事業を少なくすることが必要と考える。無駄な事業として市役所借地料を早急に解消する必要があると考えるが、市長の所見を伺う。
- 市長 いろいろな意味で不経済であり、買取り交渉している。
- 議員 今まで支払った市役所

借地料は総額35億6200万円であり、今年度の市庁舎関連の借地料は7300万円である。市側は令和3年3月までに市役所借地買取りのめどが立つかどうか判断したいとしていた。現時点での本庁舎借地買取りのめどを伺う。

- 副市長 現在なお交渉中である。引き続き交渉を続けたい。
- 議員 交渉の進展が見えない中で相手の真意を知るため、選挙で選ばれたトップである市長自らが、早急に直接、地権者と会って買取り交渉をする必要があると考える。市民もそれを望んでいる。市長の所見を伺う。
- 市長 ある程度下地ができれば直接交渉の場に立つことをお約束する。いつ行くかと言われればアポを取りその日に行く。
- 議員 市庁舎再編ビジョンでは移転候補地の調査に着手するところがあるが、進んでいるのか。
- 市長 現在はまだ市役所借地買取りを進めており、移転候補地調査には着手していない。
- 議員 市庁舎再編ビジョンの大事な部分で書いてあることとやっていることが違う。買取り交渉がうまくいかないことも想定して準備しておくべきである。



もりたにつかさ  
**森谷 司**議員  
【自由創政】

学校給食における有機農産物農業の導入について

■議員 食育は知育、徳育及び体育の基礎となる。全国的に「食の安全・安心」の視点から自然栽培、有機栽培への関心が高まっている。本市の有機農業の現状を問う。

■農林水産振興局長 有機農業の生産者は3件である。除草作業等に手間がかかるなど取組が困難である。

■議員 有機農業の推進の施策を問う。

■農林水産振興局長 国庫補助事業の「環境保全型農業直接支払交付金事業」の活用を推進を図り、支援を行っている。

■議員 学校給食の成果と今後の方針を問う。

■教育委員会事務局長 いきいきこめっこプロジェクト5周年を迎え、安全・安心な食を提供している。地産地消費率が上昇し、

残食率も年々減少している。今後も地産地消の推進と家庭、地域との連携を深めていく。

■議員 有機農産物の学校給食への導入について問う。

■教育長 現在の食材は学校給食衛生管理基準で選定した安全・安心なものであり、大量な食材を安定的に調達する必要があることから、有機農産物を導入する考えはない。

■議員 モデル校を選定し、有機米からスタートし、生産量に従って回数を増やすなど、子どもたちの未来の投資として、中長期的な視点で協議する場をつくる考えを問う。

■市長 教育長が答弁したとおり、現在の食材で安全性は確保されており、協議の場を設ける考えはない。

ウィズコロナ時代における国際交流と技能実習生について

■議員 外国人技能実習生の国別と行政役割を問う。

■経済部長 ベトナム、中国、インドネシアなどで、1493人である。国の外国人技能実習機構で運用し、本市としては、県の国際交流財団と連携して生活面のサポートをしている。



おくいわひろき  
**奥岩 浩基**議員  
【自由創政】

ウィズコロナでの社会活動について

■議員 コロナ禍による公民館行事等の地域活動の中止や規模の縮小が続く中、地域コミュニティの衰退が懸念される。本市として今後も支援を行っていく考えがあるのか問う。

■市長 各地域において、夏祭りや運動会など主な事業が中止または規模縮小するなど大きな影響を受けており、私も議員と同じで地域の方が顔を合わせる機会が減っていることの心配をしている。できるだけ必要情報提供を行うとともに、公民館同士での対応状況に関する情報交換の場を設けるなど、市としても積極的に関わりをもっていきたいと考える。

■議員 米子保健所は中核市の

鳥取市や松江市と違い、鳥取県が管轄となっている。そのような状況や地域コミュニティがフル稼働していない中、情報共有が難しく、感染対策をとっての活動ではなく、やるかやらないかの議論からスタートになっていると感じる。市としても地域活動やイベント等に対する支援や給付金等の対策が早急に必要と考えるが所見を問う。

■市長 民間イベントでは、感染者が増えると入場者が減る等による収支状況の悪化が予想され、見送るケースもあると認識している。今議会でも消費喚起イベントの補助金の予算案も計上しているところである。

■議員 ぜひ活用していただけたら。地域の文化・社会面を考えた際、加速度的に支援をしていただきたいと考える。既存の支援交付金制度以外の制度を研究し、可能であれば今年度中にサポートされたい。

(その他の質問項目)  
○ウィズコロナでの学校生活について  
○コロナ対応での国・県との連携について

## 各個質問



もり た さい  
**森田 悟史** 議員  
【無所属】

シティプロモーションについて

■議員 米子市のまちづくりビジョンに記載されている計画目標の一つにシビックプライドの醸成とある。どのような効果が得られているか伺う。

■総務部長 本市が有する地域資源や、スポーツ、文化、音楽など様々な分野で活躍されている方々を積極的に発信することで地域外の方々に対して自慢できるような地元の素晴らしさを認識し、誇りに思っていただけにいるものと考えている。

■議員 米子に関する情報の発信者を増やすことで、住んで楽しいまちづくりを、より対外的にプロモーションできると考える。一市民としても情報発信したくなる後押しや仕掛け作りなど、民間共同の観点も含めて、現状の取組を伺う。

■総務部長 米子に魅力や楽し

さを実感できる発信を行うことと、発信の際に市民や民間事業者、団体を巻き込み関係者を増やすことで、興味関心や関与意欲を持ってもらうことが重要だと考えている。

中心市街地の活性化について

■議員 元町パティオ広場を民間事業者も利用しやすいイベント広場へ整備することについて伺う。

■経済部長 広場の設置目的に鑑みても、イベントを行いやすい環境を整備していくことは必要と考えており、整備内容について地元商店街や広場でイベントを行った主催者等の意見や要望をお聞きしながら進めていきたいと考えている。

■議員 元町パティオ広場を全天候型イベント広場として整備することについて伺う。

■市長 雨天時であってもイベントが開催できるよう、屋根の設置ができないか検討しているところであり、屋根の形状や範囲などについて、地元商店街やイベント主催者等の意見を伺いながら進めていきたいと考えている。



にし の たい ち  
**西野 太一** 議員  
【自由創政】

PCR検査対象者に属する関連者の自宅待機について

■議員 現行のPCR検査のやり方では、学校及び幼稚園において関連児童全員の検査を行うため、その兄弟も芋づる式に学校を休まなくてはならない。この検査システムでどれだけの関係者が活動できなくなるのか、把握できているのか。

■福祉保健部長 PCR検査等の行政検査は、鳥取県が設置している保健所が管轄しているため、本市においては自宅待機となっている人の数などは把握していないが、相当数いると認識している。

■議員 芋づる式PCR検査で無駄に学校や会社を休んだりさせないように、30分程度で検査結果が出る抗原検査キットを検査対象者やその家族に無料配布して、それで陽性が出た方のみ、正式なPCR検査を受けるよう

にするシステムを県に提案することができないか。

■福祉保健部長 保健所が管轄していることから、県が適切に判断されるものと考えている。

■議員 県の判断は分かるが、市民の声を国や県に届けることが我々の仕事ではないのか。この議場にいる約50名の人は、芋づる式PCR検査によって仕事が急に休みになっても給与が減るのか。一般市民の中には、給与が下がり、売上げが下がり、場合によっては店舗や会社を失う人もいる。それでもまだ芋づる式PCR検査を続けるのか。県に対する提案を必死になっても考えてもらえないか。経済界出身の市長なら、できるのではないか。

■市長 現場における疲弊感や様々な問題点があるため、会議の中で何度か意見を申し上げたところであるが、そういった市民の声、県民の声、あるいは国民の声をしっかりと上げていただきたいと思っている。

(その他の質問項目)

○ふるさと納税の伸びと今後の課題について

○災害時ペット同伴避難所について



つかだ よしみつ  
**塚田 佳充** 議員  
【自由創政】

医療福祉のさらなる充実に  
ついて

■議員 医療福祉の現場の離職者が増え、人材不足となっているのが現状である。在宅介護や施設内では移動などが不自由な高齢者を介護する機会が多く、繰り返し移動の介助を行うことや、中腰やひねりなどの不自然な作業姿勢、被介護者の抱きかかえや予想外の動きによる突発的な負荷などがあり、看護・介護労働は肉体的にも精神的にも負担が大きく、腰痛や頸肩腕障害などの罹患率が高い。様々な原因で休業・離職を余儀なくされる介護者の負担を軽減するために、医療福祉の現場用に米子市独自の補助金などの検討案があるか伺う。

■市長 鳥取県においてICTの導入や介護ロボット導入支援事業による補助金交付が行われているため、まずはその制度を

しっかり使っていただいで、現場の作業の負担を減らすように活用していただきたい。米子市もその制度の周知に努めていく。現時点においては米子市独自の補助金は考えていないが、制度を見極めた上で、必要なものについては今後の課題とさせていただきます。

外浜線浜橋の架け替えにつ  
いて

■議員 浜橋の築造年と同じ築造年度の橋のうちバス路線にあたる橋の数について伺う。

■都市整備部長 浜橋は、昭和6年に築造され、昭和40年度に現在の姿に改築されている。バス路線は浜橋の1橋である。

■議員 浜橋の架け替えについて今後の予定を伺う。

■都市整備部長 令和4年度で浜橋の架け替えに必要な仮設道路に関する用地調査業務とバス事業者や占用物件関係者等と協議を行う予定で、令和5年度から仮設道路の工事着手を予定している。

(その他の質問項目)

○健康スポーツ推進について

○地域コミュニティ再生について



わたなべ じょうじ  
**渡辺 穰爾** 議員  
【自由創政】

下水道事業について

■議員 令和9年度以降、未普及対策に国費の重点的な配分は困難な見通しとのことだが、未整備地区に対する整備について伺う。

■下水道部長 現在の管渠の新規整備の規模を維持することは困難であり、概成後の生活排水対策方針について、見直しを検討しているところである。

■議員 弓浜地区である夜見、富益、彦名、和田、大篠津、崎津の下水道整備はどのように進んでいくのか伺う。

■下水道部長 内浜処理区では富益の一部まで、外浜処理区では河崎までであり、それより境港側は未整備区域となる。

■議員 現在、合併浄化槽に対し補助を行っているが、設置が困難な意見を多く聞いている。市として状況を把握しているのか。

■下水道部長 チラシ配布などを通じて、一定程度おられることは承知している。

■議員 弓浜地区を合併処理浄化槽とする場合、放流先の問題、多発する河口閉塞、法定点検など解決する問題が多々あるが、どのくらいの経費が必要か伺う。

■下水道部長 様々な課題を解決する必要があることは認識している。方策や財政負担については、生活排水対策の見直しの中で検討していきたい。

■議員 弓浜地区の住民に対し、汚水処理の方法が変更されたことを周知する必要があると考えるが、所見を伺う。

■下水道部長 個別の地区説明会の開催、市報やホームページに掲載するなど、周知に努める。

■議員 このたびの変更は、市民の生活環境において大きな差が生じると考える。住民サービスの公平性の観点から、公平と言えるのか所見を伺う。

■市長 正確な見直しを当局は持つべきであった。少なくともサービス、費用負担の面においても公平になるよう、補助金もつけながら対応したい。

(その他の質問項目)

○米子境港間高速化について

## 各 個 質 問



なかだとしゆき  
**中田 利幸** 議員  
【信風】

### 目指す市役所の在り方について

■議員 自治体の情報通信技術の活用を推進しているが、市役所に行かなくてもできる手続等、現在の状況を伺う。

■総合政策部長 納付については、スマホ決済を導入し、市民税や国民健康保険料などの納付がスマートフォンからできる。証明書発行については、マイナンバーカードをお持ちの方は、コンビニ交付サービスを導入し、住民票の写しや印鑑登録証明書などの発行が全国のコンビニでできる。各種申請については、とっとり電子申請サービスを開始し、自宅でも給付金の申請や各種イベントの申込みなど約75種の申請ができる。

■議員 今後、米子市が目指す各種手続やサービスの供給体制についてどのように考えているのか伺う。

■市長 スマホアプリや電子申請などを活用し、市役所に行かなくても手続ができるなど、市民の利便性向上につながるサービスを提供したい。また、デジタル化により事務の効率化を図ることにより、予約制窓口の導入や公民館等の地域での相談、庁舎間をテレビ会議システムで接続した相談窓口など、市民の利便性向上につながるサービスの提供体制を目指したい。

■議員 庁舎に関する取組は、今後のデジタル技術導入の進展に伴い、行政サービスの提供の在り方も大きく変化すると考える。それらを踏まえ市長の見解を伺う。

■市長 現在の状況からDXの推進にコストをかけたい。諸手続をさらにデジタル化し、市民の皆様が市役所に来なくても手続ができ、利便性を提供できるための取組である。行政サービスの提供の在り方は大きく変わっていくものと考えている。

■議員 技術革新の進展による10年後、20年後の予測は難しく、庁舎建設の規模や構造を見通すのは難しい。今は市民の利便性向上と効率性からの市役所の在り方を目指すよう要望する。



たむらけんすけ  
**田村 謙介** 議員  
【自由創政】

### 防災行政無線について

■議員 防災行政無線のデジタル化後、火災発生時に防災行政無線から発生地域のみサイレンが鳴る方法に統一され、これまで使用されてきた各消防分団が所有するサイレンは使用できなくなった。しかし、サイレンが鳴らない近隣地区の消防団に応援要請があった場合、消防分団員の招集を電話やLINEなどで行うため、分団員は仕事中に私用の携帯を操作する必要があり、分団員の招集がしづらいつとの声がある。迅速な招集を行うために、一度は廃止となった分団車庫のサイレンを再び利用したいとの声があることから、利用希望の調査を行っていただきたいかがか。

■防災安全監 消防分団長が集まる分団長会議があるので、そこで確認したい。

■議員 詐欺被害の予防など、迫りくる犯罪に対する放送も「防災米子市」として放送しているが、市民に伝わりやすい「防犯米子市」とすべきではないか。

■防災安全監 御提案の「防犯米子市」は内容が判別しやすくなる利点があり、提案趣旨を踏まえ研究していきたい。

### 米子城跡の復元と街づくりについて・9

■議員 文化振興課が米子城跡の観光振興を担うことには無理がある。観光課や観光協会がしっかりと関わるべきではないか。

■市長 議員御指摘のとおり、米子城跡のPRには観光課や観光協会がしっかりと関わっていくべきだと考える。

■議員 ダイヤモンド大山を中心とした誘客は天候に左右されるため、常時見れる夕景夜景からナイトタイムエコノミーに資する提案も図るべきではないか。

■市長 夕景の鑑賞については、米子駅エリアを中心とした夜の飲食につながる可能性が高くPRを進める必要がある。今後、新たな米子駅エリアと米子城をつなぐ飲食マップを作成したい。



こまさこ  
いましろ  
今城 雅子 議員  
【公明党議員団】

安心して住み続けられる住宅環境について

■議員 市営住宅の共益費を家賃と合算して住居費として徴収することについて、米子市が直営で共益費の徴収を行う場合の課題について伺う。

■都市整備部長 未納者が出た場合、市が立替えを行い事業者に支払うことや、事務経費が上乘せとなり入居者の負担が増えること、事務量が増え現行の人員体制では対応できるのか、などが課題だと考える。

■議員 これまでも、未納者の立替えについては課題となっていることから、今後、共益費と家賃を合算して徴収することについて、市の考えを伺う。

■都市整備部長 本市としては、令和6年度から水道料金の徴収委託を考えており、鳥取市や近隣自治体と同様、共益費を水道料金と一緒に徴収する方向で検討

討したい。

■議員 現状の共益費徴収の負担を軽減することが目的と考えることから、前向きな検討と対応を要望する。

■議員 市営住宅等の住民が、周辺の市有地を駐車場として借り受ける利活用について、本市の対応を伺う。

■総務部長 市有地を利活用したい要望があれば、現状を踏まえ判断し、行政目的を妨げない範囲での使用許可や、条件が整えば売却や貸付けを図っている。

地域協働のまちづくりについて

■議員 本市では、道路等の損傷の情報提供フォームがあるが、そこへの投稿は非常に少ない。双方向での情報共有による、市民協働の課題解決の手法について、本市の今後の取組を伺う。

■市長 市民からの情報提供は、所管課において誠実に対応し回答している。本年6月、様々な地域課題を共有し解決に取り組む部局横断組織地域まちづくり推進会議を立ち上げており、市民協働の課題解決につながる手法についても検討したい。



あいのしろう  
又野 史朗 議員  
【日本共産党米子市議団】

子どもたちに安全な通学路を

■議員 保護者からは引き続き、中学校の通学路が暗くて心配だという声を聞く。どこの自治会がつけたらいいかわからないような、集落と集落の間の暗い通学路に照明の設置をする気があるのか伺う。

■市長 必要な場所には、現場の皆さんと確認しながらつけていく。

■議員 道路照明灯はつけられる場所が限られていて、その基準がどうにかならないかと考える。住民の声にしっかりと耳を傾けて、対策を考えていただくことを要望する。

産業廃棄物処分場建設計画の中止を求めて

■議員 県の地下水等調査会では、産業廃棄物処分場計画地の地下水が三輪山の清水のすぐそ

ばを通る報告になっている。産廃処分場を造ることは、米子の宝である豊富な地下水を守る立場から言えばやめるべきではないか。

■市長 報告書では、計画地の地下水は三輪山の清水には向かってないとなっているので、そのような見解にはならない。

■議員 向かってないといっても、すぐそばを通るとなると心配する人が実際にいる。地下水等調査会の住民への説明会は委員の先生は来られなかった。委員も含めた説明会を開き、市民が納得するまで説明する必要がある。それまで産廃処分場計画を進めないように要求するべきではないか。

■副市長 県やセンターが適切な判断をすることであり、要求するつもりはない。

■議員 県やセンター任せではなく、米子市内に造られるわけである。淀江の地下水が改めて米子市の宝であるという証明がされた以上、米子市としてはそれを守り、最大限生かしていく方向で施策を展開していくべきである。淀江の産廃処分場計画は中止すべきであると改めて主張する。



## 各個質問



とこう ひとし  
**土光 均** 議員  
【よなご・未来】

### 6月17日の「避難者訴訟」の最高裁の判断について

■議員 最高裁の判断は「想定外の原因で原発事故が起きたときは、避難した住民の損害賠償に関して国は責任を問われない」というものであった。この判断について市長の見解を問う。

■市長 自然災害について当時の知見で予防しきれないものについては国に責任はないという判断が下されたと承知している。

■議員 米子市は、県と境港市と連名で国に対して「万が一、事故が発生した場合は、全責任をもって賠償すること」と要請している。最高裁の判断に違和感はないか。

■市長 あくまで因果関係を考慮した上での責任であって、どこかで何らかの線引きが発生することは当然のことである。そうした前提の中でしっかりと国に対して求めることは求める。

### 島根原発2号機に関しての中国電力への回答(3月25日付)について

■議員 市はこれまで2号機の再稼働の是非の判断においてプルサーマル発電の実施までは想定していないとの考えを示している。今回の3者連名での文書は2号機でのプルサーマル発電の実施まで了解したものでないかと理解しているか。

■防災安全監 3者でプルサーマル発電の実施に関して協議したものでない。県と境港市の認識は承知していない。

■議員 3者連名での再稼働を了解する文書の解釈が米子市、境港市、県で異なるのか。

■総務部長 この文書を3者で作成したとき、プルサーマル発電まで想定して協議したものでないが、市としては当然想定していないものと思っている。ただ、県や境港市の認識は本日現在承知していない。

■議員 3者連名の文書なのに「了解」の範囲があいまいである。今からでも、市の見解であるプルサーマル発電までは了解に含まないとの共通理解を県と境港市とすべきではないか。

■総務部長 確認をしたい。



くにとう やすし  
**国頭 靖** 議員  
【よなご・未来】

### 子どもを産み育てられるまちづくりについて

■議員 保育料無償化の議論をするのは必要と考えるが、費用をどこから持ってくるのか政策的な判断となる。市長の意見を伺う。

■市長 議論をすることは必要であるが、これが少子化対策であるのか、子育て支援であるのかを明確にしながら、議論を進めていくことが必要と考える。

■議員 私はどちらでもあると考える。まずは検討の緒についてもらうことを要望したい。

■議員 給食費の一部無償化についての考えを伺う。

■教育長 保護者の経済的負担の軽減のために、生活保護給食扶助費として10割、準要保護給食扶助費として7割を補助しているため、現在のところ考えていない。

■市長 何のためにするのかと

いうことであり、先ほどの教育長の答弁のとおり、一部無償化については考えていない。

■議員 中学生、高校生が町なかのファミレス、スタバ等で休み中や試験前に勉強しているのを見かける。学習の場として、市立図書館などという状況になっているのか伺う。

■教育委員会事務局長 市立図書館では4つの研修室を開放し、130名の利用ができるようになってきている。現在はコロナ対応として、その3分の2の利用にしている。

■議員 みんなが市立図書館に行くことができるわけではない。今後は、公民館でも学習ができる状況になればと考える。

### 「コロナ・熱中症等の対策について

■議員 熱中症に対しての市の今後の取組について伺う。

■福祉保健部長 今までの取組に加え、地元テレビ局と協力し、周知、啓発に取り組んでいきたい。また、事例などの紹介もしていきたいと考える。

■議員 公共施設の活用なども考えなければならぬ。防災の観点からもお願いしたい。

賛否の状況																						
自由創政						信風					公明党議員団				よなご・未来				日本共産党 米子市議団		無所属	
奥岩浩基	門脇一男	田村謙介	塚田佳充	戸田隆次	西野太一	森谷司	渡辺稜爾	安達卓是	伊藤ひろえ	大下哲治	中田利幸	今城雅子	津田幸一	徳田博文	矢田貝香織	国頭靖	土光均	松田真哉	吉岡古都	錦織陽子	又野史朗	森田悟史
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	×	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×
×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	○	○	○

※所属会派名は7月定例会時のものです。

## ●陳情の議決結果の理由等①●

陳情第1号	<p><b>【趣旨採択とした理由】</b></p> <p>①水田として活用しているところに交付する交付金の性格から言えば、それを救済する措置はまた別に考えるべきであり、水田を水田として守っていただいている農家に交付する交付金という性格から考えると、ストレートに採択という話にはならないため。</p> <p>②飼料用米生産については補填をしていかなければならないが、この交付金の実態には不合理性があり、全体的に農業政策において不合理性があってはならないため。</p> <p>③この見直しは制度の趣旨や現場の実態を反映したものであると理解しているが、見直しの内容について農家の反響が非常に大きいことも承知しているため。</p> <p><b>&lt;採択を主張する意見&gt;</b></p> <p>この交付金については実態に合わない部分があるとの主張があったが、それならばそれに見合った対策をきちんと取ってから見直しをするべきであって、見直しだけをするのは農家に大打撃を与えることになる。</p> <p><b>&lt;趣旨採択を主張する意見&gt;</b></p> <p>①水田として活用しているところに交付する交付金の性格から言えば、それを救済する措置はまた別に考えるべきであり、水田を水田として守っていただいている農家に交付する交付金という性格から考えると、ストレートに採択という話にはならない。</p> <p>②飼料用米生産については補填をしていかなければならないが、この交付金の実態には不合理性があり、全体的に農業政策において不合理性があってはならない。</p> <p>③この見直しは制度の趣旨や現場の実態を反映したものであると理解しているが、見直しの内容について農家の反響が非常に大きいことも承知している。</p> <p><b>&lt;継続審査を主張する意見&gt;</b></p> <p>今後、農林水産省が交付対象水田のルールの対応を示す予定であり、その内容を見ていきたい。</p>
陳情第3号	<p><b>【不採択とした理由】</b></p> <p>①ごみ処理は各地域の施設の老朽化、人口減少が進む中で持続可能な適正処理や気候変動対策の意味からも広域で取り組むことがいいと考えるため。</p> <p>②陳情の内容に処理方法等の方が言われているが、基本構想では国の施策に合わせながら進めることとしているため。</p> <p>③どうしてもリサイクルできないものが焼却または埋め立て処分ということが考えられるが、現時点では、結論が出ていないため。</p> <p>④今回の陳情は熱回収を削除ということを求めておられるが、循環型社会形成推進基本法においてもそこまでは言っていないため。</p> <p>⑤リサイクルを行う業者がないという現状があり、代案がないため軟質プラスチックも混合で焼却してきた状況があるため。</p> <p><b>&lt;賛成意見&gt;</b></p> <p>①西部圏域で軟質プラスチックを入れるという計画は、まだ決まっていないというふうに言われるが、7割のごみを占める米子市に合わせることとなると思う。</p> <p>②気候変動、海洋プラスチックの問題を考えても燃やしてしまうという計画は、見直す必要がある。</p> <p><b>&lt;反対意見&gt;</b></p> <p>①ごみ処理は各地域の施設の老朽化、人口減少が進む中で持続可能な適正処理や気候変動対策の意味からも広域で取り組むことがいいと考える。</p> <p>②陳情の内容に処理方法等の方が言われているが、基本構想では国の施策に合わせながら進めることとしている。</p> <p>③どうしてもリサイクルできないものが焼却または埋め立て処分ということが考えられるが、現時点では、結論が出ていない。</p> <p>④今回の陳情は熱回収を削除ということを求めておられるが、循環型社会形成推進基本法においてもそこまでは言っていない。</p> <p>⑤リサイクルを行う業者がないという現状があり、代案がないため軟質プラスチックも混合で焼却してきた状況がある。</p>

# 令和4年米子市議会7月定例会提出議案等審議結果一覧表

## ●賛否が分かれた議案及び陳情●

議案等番号	件名	議決結果	自由創政		
			稲田清	岩崎康朗	岡田啓介
議案第59号	財産の取得について	原案可決	議	○	○
議案第60号	令和4年度米子市一般会計補正予算(補正第3回)	原案可決	議	○	○
陳情第3号	西部広域行政管理組合一般廃棄物処理施設整備基本構想の見直しを求める陳情	不採択	議	×	×
陳情第6号	消費税インボイス制度の実施中止を求める陳情	不採択	議	×	×

## ●陳情の議決結果の理由等②●

陳情第6号	<p><b>【不採択とした理由】</b></p> <p>①この制度は、消費税の創設から軽減税率の導入という税制改革の流れの中から、今後の税の公平性を進めるためにも必要であるため。</p> <p>②課税事業者の中にも大変苦しみながら、御努力いただいて頑張っておられるところもあり、その中でこの税体系をいかに公平に制度として作り上げていくのかということであるため。</p> <p>③中小事業者、免税事業者にとっては、税制度開始後6年間は一定の仕入額控除を認める経過措置期間が設けられ、この間にこの制度に対する対応を見極めることができるため。</p> <p><b>&lt;賛成意見&gt;</b></p> <p>①この制度は免税業者の負担が増えることが間違いないものであり、その負担分を価格に転嫁しづらく、現在のコロナ禍ではさらに難しくなっており、中小規模事業者はどんどん廃業に追い込まれるのは明らかである。</p> <p>②中小規模事業者は地方にとっては経済の中心であり、コロナ禍の現在、この制度のまま行うべきではない。</p> <p><b>&lt;反対意見&gt;</b></p> <p>①この制度は、消費税の創設から軽減税率の導入という税制改革の流れの中から、今後の税の公平性を進めるためにも必要である。</p> <p>②課税事業者の中にも大変苦しみながら、御努力いただいて頑張っておられるところもあり、その中でこの税体系をいかに公平に制度として作り上げていくのかということである。</p> <p>③中小事業者、免税事業者にとっては、税制度開始後6年間は一定の仕入額控除を認める経過措置期間が設けられ、この間にこの制度に対する対応を見極めることができる。</p>
-------	---

## ●全会一致で議決した議案等●

議案等番号	件名	議決結果
議案第49号	特別委員会の設置について	原案可決
議案第50号	監査委員の選任について	原案同意
議案第51号	専決処分について(米子市市税条例の一部を改正する条例の制定について)	原案承認
議案第52号	専決処分について(令和4年度米子市駐車場事業特別会計補正予算(補正第1回))	原案承認
議案第53号	専決処分について(令和4年度米子市一般会計補正予算(補正第2回))	原案承認
議案第54号	米子市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第55号	米子境港都市計画地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第56号	米子市市税条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第57号	米子市地方活力向上のための固定資産税の課税免除及び不均一課税に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第58号	米子市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第61号	令和4年度米子市下水道事業会計補正予算(補正第1回)	原案可決
議案第62号	工事請負契約の締結について	原案可決
議案第63号	工事請負契約の締結について	原案可決
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案同意
陳情第1号	国の「水田活用直接支払交付金」の見直しの白紙撤回を求める陳情	趣旨採択

●報告●

報告番号	件名
報告第5号	令和3年度米子市繰越明許費繰越計算書について
報告第6号	令和3年度米子市水道事業会計予算繰越計算書について
報告第7号	令和3年度米子市水道事業会計継続費繰越計算書について
報告第8号	令和3年度米子市下水道事業会計予算繰越計算書について
報告第9号	法人の経営状況について
報告第10号	議会の委任による専決処分について(法律の改正に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について)
報告第11号	議会の委任による専決処分について(工事請負契約の締結についての議決の一部変更について)
報告第12号	議会の委任による専決処分について(損害賠償に係る和解及び損害賠償の額の決定について)
報告第13号	議会の委任による専決処分について(損害賠償に係る和解及び損害賠償の額の決定について)
報告第14号	議会の委任による専決処分について(損害賠償に係る和解及び損害賠償の額の決定について)



## マチイロで市議会だよりをもっと身近に

無料アプリ「マチイロ」を利用して、いつでもどこでも市議会だよりを読むことができます。

スマートフォン用アプリケーションで、「マチイロ」に登録している自治体の広報紙や議会だよりをスマートフォンやタブレットなどで読むことができます。ぜひ、ご利用ください！

※アプリのダウンロードは無料でできますが、通信費は利用者の負担となります。

## 表紙写真・イラスト募集中!

よなご市議会だよりの表紙を、あなたの作品で飾ってみませんか？

**応募締切：令和4年12月16日(金)【令和5年3月1日発行予定】**

※応募方法など、詳しくは市議会ホームページをご覧ください、議会事務局(32-0302)へお問い合わせください。



- ◎委員長
- ◎副委員長
- ◎西野 太一
- 伊藤ひろえ
- 岩崎 康朗
- 門脇 一男
- 錦織 陽子
- 森田 悟史
- 矢田 香織
- 吉岡 古都

広報広聴委員会

お問い合わせ先

**米子市議会事務局** 〒683-8686 米子市加茂町一丁目1番地

TEL: (0859)32-0302 FAX: (0859)35-6464

メール: [gikai@city.yonago.lg.jp](mailto:gikai@city.yonago.lg.jp)

[米子市議会](https://www.city.yonago.lg.jp/gikai/)

検索

URL: <https://www.city.yonago.lg.jp/gikai/>

ご意見等ありましたら、電話・FAX・メール等でお寄せください。

